

あなたは大丈夫？！



～DVの形態は、身体的暴力だけではありません～

身体的暴力

- 平手でうつ
- 足でける
- 刃物などの凶器をからだにつきつける
- 髪をひっぱる
- 物をなげつける



精神的暴力

- 大声でどなる
- 実家や友人とつきあうのを制限したり、メールや電話を細かくチェックしたりする
- 何を言っても無視して口をきかない
- 人の前でバカにしたり、命令するような口調でものを言ったりする
- なくるそぶりや物をなげつけるふりをしておどかさ



経済的暴力

- 生活費を渡さない
- 生活費を少額しか渡さず「ください」と言わせる
- 「外で働くな」と言ったり、仕事を辞めさせたりする



性的暴力

- 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌をみせる
- いやがっているのに性行為を強要する
- 避妊に協力しない



デートDVにも注意！

10～20代の恋人同士の間で起こる暴力を「デートDV」と呼んでいます。

デートDVに象徴的な行為が携帯電話のチェックで、これにより友人とのつきあいや行動を制限し相手を束縛します。この支配とコントロールを「愛情」と誤解している場合が少なくなく、デートDVについては被害者も加害者も自覚していないケースが多くなっています。



注意！ メール返信をすぐしないと怒る交際相手

携帯電話の履歴を細かくチェックし、相手を確認したり時には自分以外の相手とメールや電話をすることさえ嫌がり、ついには携帯電話を壊したりする場合があります。

注意！ 性行為を強要する交際相手

無理やり体をさわったり、恋人だから当然と性行為を強要、拒否すると不機嫌になったり、暴言を吐いて蹴る、たたくなどの暴力行為を行い相手をコントロール下に置こうとします。

逃げられないのはなぜ？

～背景にさまざまな困難が存在します～

夫婦げんかくらいだれでもするのは？ **NO!**

いわゆる夫婦げんかはお互いが対等の立場で言い争ったり、対立する一時的なものです。DVは一方的・継続的に振るわれる暴力で、被害者は加害者に心身ともコントロールされてしまいます。両者の間には支配と従属の関係があります。

暴力を受けるくらいなら別れればいいのでは？ **NO!**

被害者は経済的に弱い立場にある場合が多く、生計、子どもの養育などの問題を抱えています。また、長期にわたる暴力は逃げ出す気力を失わせたり、DVの原因が被害者自身の非にあると思込ませたりします。

被害者の側にも問題があるのでは？ **NO!**

加害者は自分の行為を正当化するために、さまざまな理由を打ち出します。被害者が女性の場合、その背景には、「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という固定観念や経済力の差などから女性を対等なパートナーと見ない女性差別の意識があります。しかし、どのような理由であれ暴力は許されない行為で、責任は加害者にあります。

一部の暴力的な人たちの問題なのでは？ **NO!**

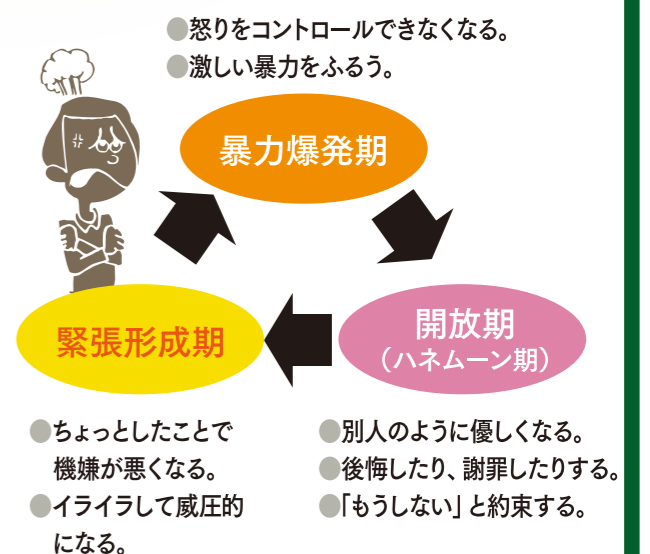
DVは加害者・被害者共に「一部の特別な人々」の間で起こることではなく、誰にでも起こる危険性があります。加害者は職業や年収、学歴、年齢などに決まったタイプはありません。定職や社会的地位を持ち、人当たりが良いなど「あの人の限って」と暴力をふるうことが想像できない人もいます。

子どものために？

「子どもが幼く経済的に不安」「子どもには父親(母親)の存在が必要」と我慢している結婚生活が、子どもに深刻な影響を与えているかもしれません。

- DVのある環境で育つ子どもたちは、いつ暴力が始まるのか予測できず常に不安な気持ちです。
- 暴力の原因が自分にあると思込込み、自分を責めることがあります。
- 感情表現や問題解決の手段として暴力を認めるようになります。
- 加害者は、子どもにも暴力をふるっていることがあります。
- 家庭の中で暴力を目撃すること自体が、子どもへの虐待にあたります。

～加害者の行動サイクル～



これは一つの行動パターンであり、全てのケースに当てはまるわけではありません。